

「国道2号 関門トンネルの新たな通行料金案」について



国道2号 関門トンネルの新たな通行料金案を作成しましたのでお知らせします。また、本案に対して広く利用者の皆さまから意見を募集します。

○国道2号 関門トンネルの新たな通行料金案

1. 新たな通行料金の背景

関門トンネルは、昭和33年に開通し弊社の前身である日本道路公団が管理を開始してから67年が経過しました。海底トンネルという特殊な構造上、大規模な排気・排水設備を有しており、その維持管理には多額の費用を要することから、維持管理有料道路の制度を活用し維持管理を行っています。関門トンネルの通行料金は、コスト管理を徹底するなどの取り組みを行うことで、長期にわたり現在の料金水準を維持してきました。

しかしながら、安全・サービスの維持向上、老朽化した構造物や設備の更新及び建設資材価格・労務費等の上昇など取り巻く環境の変化に対応しつつ、関門海峡の重要な交通機能を確実に確保していくためには、通行料金の見直しが必要となっています。

2. 通行料金等

(1) 料金の額

1回の通行に係る料金の額は、普通車の場合、現行の160円から令和8年6月に230円、令和12年頃に300円とし、利用者の急激な負担増を軽減するため、段階的に引き上げる案としています。なお、各車種の料金の額は以下のとおりです。

(税込)

期間	軽自動車等	普通車	中型車	大型車	特大車	軽車両等
令和7年10月 ～令和8年5月 (現行料金継続)	110円	160円	210円	260円	420円	20円
令和8年6月 ～令和12年頃	160円	230円	300円	370円	600円	20円
令和12年頃～ (ETC導入※時期を別途)	210円	300円	390円	490円	790円	30円

(2) 割引制度

- ・ 障害者割引は料金引き上げ後も継続します。
- ・ 回数券とその利用による割引は料金引き上げ後も当面の間、継続します。
- ・ ETC導入後の割引については、現行回数券の割引と同程度の規模を念頭に引き続き検討してまいります。

※令和7年4月18日に公表された有識者により取りまとめられた提言「関門トンネルにおける今後の維持管理・修繕に関する検討委員会 中間とりまとめ」において、料金所部での渋滞緩和や利便性向上が必要とされました。この提言を踏まえ、キャッシュレス化・タッチレス化を推進し、お客さまの利便性向上を図るため、下関側・門司側ともにETC設備を導入する計画としています。

皆さまからのご意見を伺った後、国土交通大臣へ事業変更許可申請を予定しています。引き続き、関門トンネルを安全・安心にご利用いただけるよう取り組んでまいります。